

国別熱帯林行動計画策定活動の状況について

渡 辺 聰

今後の熱帯林の保全及び開発に際して重視すべき5分野（①土地利用における林業，②林産業の開発，③燃料とエネルギー，④熱帯林生態系の保全，⑤制度）を示し，各国及び国際社会の援助の指針の役割を果たす熱帯林行動計画（TFAP）の考え方に沿って，開発途上国における森林林業に係る問題点を分析し，具体的なプロジェクト等の提案を行う国別熱帯林行動計画（NTFAP）の策定に必要な活動が，実施されてきている。

現在までに当該計画の策定を終えた国はケニア，スーダンであるが，その他多くの開発途上国において今後実施されることとなっている。

策定活動は，開発途上国の森林・林業に係る計画策定能力レベル等により異った方法がとられている。当該能力の低い開発途上国の場合，先方からの要請により先進国及び国際機関の専門家からなる調査団が編成され，NTFAP策定に必要な調査が実施される。この際一般的に，先進国の援助機関あるいは国際機関がまとめ役であるリードエイジェンシー（Lead Agency）となり，当該調査団が，派遣される前の事前調査，先方国とのスケジュール決定等を行っている。NTFAP策定の一般的な手順は次のとおりである。

- (1) 開発途上国からの調査団派遣要請・リードエイジェンシーの決定。
- (2) チームリーダーのリクルート及び配置。
- (3) 途上国との検討によりチームリーダーは「現状と問題点」(Issue Paper)を作成する。(この場合，小規模な事前調査ミッションが送られる。)
- (4) これにより，本格調査団の必要な専門家の分野及びその調査内容を決定する。
- (5) 調査団員の人選及び開発途上国の了解取り付け。
- (6) 本格調査団派遣(2か月程度)，要約レポート(NTFAP)(案)の作成。
- (7) 開発途上国への当該レポート(案)の提出及び当該レポートに関して，戦略や優先度の点から途上国と検討。(ワークショップの開催)。
- (8) レポート最終版の作成。
- (9) 開発途上国政府によるレポートの採択。
- (10) NTFAPを実行に移すために必要な検討(ラウンドテーブル/セミナーの開催)。

WATANABE, Satoshi : Present Situation of the Tropical Forestry Action Plan at National Level

経済企画庁調整局国際経済第2課

しかし、ある程度の計画策定能力を持った国では、自から NTFAP を作成し、ワークショップ、ラウンドテーブル、セミナー等に、先進国、国際機関よりの専門家を招き、内容の検討を行うという場合があり、本格調査団の派遣は省略される。

我が国はこれまで、カメルーン、ペルー、パナマへの本格調査団及びホンジュラスのラウンドテーブルへ専門家を派遣してきている。また今後も、農林省による FAO への拠出金により当該活動の支援を行っていくとともに、要請に応じ専門家の派遣を行うこととしている。

今後、ネパール、ラオス、マレーシア、ブルキナファソ、コンゴ、ガーナ、ギニア、モーリタニア、シェラレオーネ、タンザニア、アルゼンチン、ボリビア、コスタリカ、ドミニカ、エクアドル、メキシコ、ニカラグア等において NTFAP に係る活動が開始される予定となっている。

新刊紹介

◎オーストラリアクイーンズランド州北部の熱帯降雨林 (Australian Heritage Commission, ed.: Tropical Rainforests of North Queensland—Their Conservation Significance. 195 pp., 1986. Australian Government Publishing Service. 邦貨約 3,900 円)

オーストラリアの北東部、クイーンズランド州の海岸部に約 20,000 km² にわたって熱帯降雨林が広がっている。この地域は年間降水量が 4,000 mm に達するところもあるが、その約 60% が 4 か月にまとまって降り、また、気温の面でも赤道付近の真の熱帯地域と異なり、明確な季節変化がある。このように降雨林としては限界地に成立しており、典型的な熱帯降雨林とはいえない。しかし、この降雨林は、他の熱帯降雨林にはみられない数多くの特徴をもっている。オーストラリア大陸自体が極めてユニークな生物相をもっていることはよく知られているが、この森林には、その現存するオーストラリアの生物の過去の進化の段階における遺存種が混在している。たとえばオーストラリアの広葉樹の大部分の原型がここに見いだされ、*Eucalyptus* の先駆種と考えられる属もこの森林内に見つかっている。

本書はオーストラリア遺産委員会が、降雨林の重要性を広く世に訴えるために出版したものである。過去の地質的な変動に伴う進化の各段階が現存する動植物相に刻み込まれている点、非常に興味深い森林であるが、学術的に体系だっただけの特質を明らかにしようとしたものではない。この地のみで見つかる貴重な種、絶滅の危機にさらされている種が目録的に紹介されている。

(阿部健一)